



シドモア桜の会 横浜 概要

敬称略

設立の経緯と歩み：

- 1986年、生出恵哉、内田四方蔵らが「シドモア桜の会」の前身となる「日本の桜を愛した女史の墓前に桜を植える会」を結成。渡邊はま子ら約90人の賛同者から寄付を集め顕彰碑を建立。
- 1987年、生出恵哉が発起人となりシドモア桜の会を設立。文芸懇話会、横浜ペンクラブが中心となり、山手十番館後援で活動始める。1912年のワシントン桜植樹と同じ3月27日第一回シドモア桜の会を開催し、墓前で顕彰碑「日本の桜を愛した女性ここに眠る」の除幕式とその傍らに生出恵哉が命名した<シドモア桜>を植樹。これにより、「シドモア桜の会」が始まる。
- 1991年、ワシントンより里帰りの苗木が贈られ、外国人墓地内のシドモア家墓前に2本とアメリカ碑苑内に3本の計5本を植樹。現存は墓前1本とアメリカ碑苑内1本の計2本のみ。この<里帰りの桜>から接ぎ木したものが、のちに「シドモア桜」と呼ばれるようになった。
- 1995年、シドモア女史の著作『日本・人力車旅情』の翻訳者・恩地光夫夫人、恩地薫が代表となり、山手十番館内の山手資料館に事務局を設置。
- 2015、梅本千晶がシドモア桜の会ニューヨーク設立、NY州 Eastchester で桜植樹、桜祭りを始める。
- 2020年9月、梅本千晶が代表を引き継ぎ、会の名称を「シドモア桜の会」から「シドモア桜の会 横浜」に変更。新体制発足。

会の目的：

日米友好の象徴として知られるワシントンの桜は、シドモア女史が発案者で移植実現の影の立役者であったことを多くの人に知ってもらい後世に伝える。また、女史が日米親善に貢献した歴史と横浜との関わりを知り、横浜の屋外の文化遺産ともいえる横浜外国人墓地や「里帰りの桜」を守り、日米親善に繋がるような活動をする。

新体制前の活動：

- 無縁仏となり荒れていた山手外国人墓地のシドモア家の墓をボランティアで清掃。整備・維持の一助になるよう墓地に献金
- 毎年桜の咲く春（現在は3月27日）に墓前祭を主催し、シドモア女史を偲び、会員間の交流をはかる
- 11月3日のシドモア女史命日にあわせて墓参
- シドモア女史や桜植樹実現の歴史等の講演会やパネル展示会を不定期に企画、開催
- 1991年ワシントンから里帰りの桜を墓前に植樹
- 墓前の「里帰り桜」をボランティアで管理、養生を担う。里帰り桜の穂木を用いて、各地に「シドモア桜」を植樹し、シドモア女史の偉業を伝える（植樹場所については添付リスト参照）
- 日本さくらの会が招聘する米国桜の女王横浜表敬訪問時にシドモア家墓地を案内
- 日本さくらの会主催の日本の桜の女王選定の会に参加

連絡先: シドモア桜の会 横浜 事務局 (代表 梅本千晶)
〒240-0012 横浜市保土ヶ谷区月見台 7-42
TEL: 070-4010-3214
E-mail : sakura.scidmoreesy@gmail.com

現在の活動（2021年より）：

- これまでの活動に加え、シドモア女史と桜の歴史啓発の為、多くの人の目に触れる場所に「里帰り桜」の歴史を受け継ぐ「シドモア桜」を植樹する「植樹プロジェクト」の推進
- 「里帰り桜」から「シドモア桜」の苗を作る「苗木作成プロジェクト」、横浜市の小学生に苗木を作成してもらい、育ててもらおう「苗木ワークショップ（WS）」、接ぎ木の技術者・指導者の養成の推進
- 2027年横浜で開催の国際園芸博覧会でのシドモア桜の植樹を目指して、子供たちと一緒に苗木作成
 - ❖ 2022年 横浜市立幸ヶ谷小学校
 - ❖ 2023年 横浜市立上瀬谷小学校（横浜市と共催でシドモア桜と海軍道路レガシー桜の苗木作成 WS 開催）
 - ❖ 2024年 横浜市立矢部小学校
- 2022年より横浜市が主催するガーデンネットワーク横浜に於いて、連携事業者を選定され、外国人墓地ツアーや苗木ワークショップを主催
- 横浜の歴史やワシントンの桜の歴史を学ぶ機会の提供
 - 2022年2月 横浜中区ロータリークラブに於いて、「シドモア女史とワシントンの桜」講演会
 - 2022年4月 横浜日米協会に於いて、「シドモア女史とワシントンの桜」講演会
 - 2024年3月 石川県金沢市、金沢ふるさと偉人館に於、高峰譲吉博士ゆかりの会主催「シドモア女史とワシントンの桜」講演会
- 2022年より横浜シドモア桜祭り開催
 - 日米桜交流110周年を記念して全米桜祭りのような桜祭りを色々な桜イベントと連携し開催
 - 横浜ウォーキング協会との連携「シドモア桜ウォーク」
 - ハイカラフェスタさくら祭りとの連携
 - 横浜ビールさんと連携で「シドモア桜ビール」作成（2022年）
 - 濱缶さんとの連携で「シドモア桜クッキー」作成（2023年）
 - 横浜中華街 江戸清さんとの連携で「シドモアさくらあんまん」作成（2024年）
 - 横浜中華街発展会協同組合との連携
- 2023年、横浜中華街 インターナショナルマルシェに参加 パネル展開催
- SDGs への取り組み

今後の予定

- 横浜市全18区シドモア桜植樹プロジェクト
 - 2027年開催の国際園芸博覧会に向けて、市民レベルで盛り上げるきっかけを作成
 - 2024年 西区 金沢区 鶴見区 中区（中華街）
 - 2025年 磯子区
- ペリー来航にちなんだ場所や開港五都市への植樹プロジェクト
 - 2024年4月 下田開港170周年記念植樹
 - 新潟、神戸、函館、長崎
- 全国での植樹
 - 2024年 石川県 金沢市
 - 2025年 広島県 広島市

シドモア家墓前「里帰り桜」から穂木を採取した<シドモア桜>の植樹リスト

1. 本牧小学校
2. 栄区上郷・森の家(2000年、4本)
3. 栄区長倉町(2000年12月、1本)
4. 本牧山頂公園 (2002年、3本)
5. 元町商店街、谷戸橋近く (1993年)
6. 逗子池子米軍キャンプ場
7. 日吉の丘公園 (2002年、3本)
8. 大岡川 右岸に1本、左岸に5本 (2012年)
9. 東小学校 (2012年)
10. 大倉山公園 (2017年3月27日、第33回全国都市緑化よこはまフェア、横浜市港北区の事業として)
11. 都立園芸高校 (2017年)
12. 都筑区川和駅前菜の花畑と信田邸 (2本、2009年2月/1本、2017年3月18日世界ふしぎ発見放映記念)
13. 緑区鴨居駅北側の鶴見川土手 (1本)
14. 長野県、池田町
15. 山手の国務省日本語研修所 (2019年3月15日)
16. 米国海軍横須賀基地 (2019年4月22日)
17. 新鶴見小学校 (2007年2月)
18. 富山県中央植物園 (2007年4月2日)

新体制後(2021年1月以降)のシドモア桜の植樹

- No.1 横浜市新市庁舎前・大岡川 弁天橋(2021年3月26日)
- No.2 伊勢山皇大神宮創建 150周年記念植樹(2021年10月22日)
- No.3 横浜山手外国人墓地・シドモア家墓地(2021年11月9日)
- No.4 横浜山手外国人墓地・アメリカ碑苑内(2021年11月9日)
- No.5 tvk ハウジングプラザ横浜 (2021年11月25日)
- No.6 横浜インターナショナルスクール新校舎落成記念(2022年1月31日)
- No.7 聖光学院 (2022年3月18日)
- No.8 横浜市立横浜総合高校 (2022年3月18日)
- No.9 精華小学校 (2023年2月26日)
- No.10 慶應義塾大学日吉キャンパス (2023年3月20日)
- No.11 開港広場 (2023年3月22日)
- No.12 新潟県立六日町高校創立 100周年 (2023年10月13日)
- No.13 横浜国立大学 (2023年11月15日)
- No.14 横浜市緑区ハーモニーみどり (2023年11月19日)
- No.15 横浜植木株式会社(2024年1月24日)
- No.16 横浜市立元街小学校創立 150周年 (2024年1月31日)
- No.17 大和市立下福田小学校 (2024年3月6日)
- No.18 横浜市上瀬谷小学校 (2024年3月13日)
- No.19 下田市下田公園 (2024年4月30日)
- No.20 横浜国立大学 経済学部 (2024年4月11日)

- No.21 横浜市金沢区 能見堂緑地「不動池」(2024年6月22日予定)
- No.22 横須賀市内公園(2024年予定)
- No.23 横浜市立岸谷小学校(2024年予定)
- No.24 鎌倉市浄智寺(2024年予定)
- No.25 磯子区磯子アベニュー、磯子センター付近(2025年春予定)
- No.26 横浜市立矢部小学校(2026年予定)
- No.27 横浜市立矢向小学校(2026年予定)

「シドモア桜」の名前の由来について

シドモア桜の定義はワシントンから送られた墓前の「里帰り桜」から穂木を採った苗及びその成長した樹のみに使用する。元の里帰りした樹は、「里帰り桜」として区別している。

- 1987年第一回シドモア桜の会の墓前祭でシドモア女史の為、墓碑傍らに植樹した桜を「シドモア桜」と命名したのがはじまりだが、最初の木は里帰り桜ではない。後に盗難に遭い紛失。現存するのは二代目。
- 1991年(平成3年)、シドモアの功績を後世に遺そうと「外人墓地を愛する会」と「YMCA」の計らいでワシントン・ポトマック河畔から里帰りした桜が、外国人墓地に5本植樹された。シドモア家墓前に2本植樹され、後に「里帰り桜」と呼ばれた。3本は「アメリカ碑」苑内に植樹されたが、数本枯れて、現存するのはシドモア家墓前の1本と、アメリカ碑の1本の計2本のみ。この墓前の「里帰り桜」から、主に接ぎ木の手法を用いて苗木を育て、植樹した桜を、「シドモア桜」と呼ばれるようになった。
- 2011年にも日米桜交流100周年記念でアメリカより150本の桜が届けられ、シドモア桜として植樹されているところがある。(詳細、出所、本数等不明)

2012年日米桜交流100周年記念で送られた桜を「シドモア桜」と呼んで植樹しているリスト

- 野毛山公園(2012年)
- 本郷台駅前広場(2013年3月、日米桜交流100周年記念その後台風で折れ、当会のシドモア桜を再植樹)
- その他、海老名市、東日本大震災被災地、浅野学園 など